

11/27 (金) 「ひらさわファーム」県知事賞を受賞
第48回花と緑の環境美化コンクール



令和2年度チャレンジいばらき県民運動のつどい(チャレンジいばらき県民運動主催)が開催され、花と緑の環境美化コンクール(団体・職場部門)で、町代表の「ひらさわファーム(小幡)」が、応募総数176団体の中から、最高位にあたる県知事賞を受賞しました。県民運動のひとつとして推進する花いっぱい運動は、花づくりをおして地域のつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進めることで、地域に愛着を持っていただくことを目的に実施しています。受賞した「ひらさわファーム」は、令和4年度までの3年間、花と緑の県民運動モデル花壇として指定されます。

12/3 (木) 霞台厚生施設組合 「霞台クリーンセンターみらい」火入式



新広域ごみ処理施設「霞台クリーンセンターみらい」において、火入式が行われました。施設での無事故・無災害を祈る神事を執り行った後、正副管理者や施工者などにより、焼却炉への点火が行われました。令和3年4月から本格稼働となる「霞台クリーンセンターみらい」は、リデュース・リユース・リサイクルに、リフューズ(不要なものは買わない、もらわない)、リペアー(修理しながら長く使う)を加えた5Rを推進しながら、ごみの減量化・資源化に取り組み、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築に努めていきます。

11/21(土) 11/22(日) 11/23(月・祝) 酒沼自然公園 「The Coleman Camp 2020」開催



コールマンジャパン(株)主催のキャンプフェスが酒沼自然公園にて開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場を約120組に限定し、アコースティックライブやワークショップなどが行われました。また、当日は会場内の様子をオンライン配信し、自宅や別のキャンプ場でも現地の雰囲気を楽しめるようにするなど、“密”を避けるための工夫が凝らされたイベントとなりました。

11/27 (金) 安全・安心・快適・楽しい自転車の利用 茨城町の自転車活用推進計画の策定について



令和2年11月27日に、関係機関、関係団体及び有識者からなる茨城町自転車活用推進協議会(会長:小原規宏准教授/茨城大学人文社会科学部現代社会学科)を設立しました。町では、近年の健康志向の高まりや、サイクルツーリズムの盛り上がりを受け、日常生活における自転車利活用の促進やサイクルツーリズムを推進するため、安全・安心・快適・楽しい自転車の利用環境の創出を目指していきます。今後は、本協議会において、年度内の自転車活用推進計画策定に向け、町の実情に応じた具体的な目標や施策を検討・協議していきます。

11/13 (金) 活躍めざましく 令和2年度茨城県表彰



田家さん 山口さん

茨城県の各分野において、県勢の発展に著しい功績があった方々を称える茨城県表彰式が開催されました。町からは、功績者表彰(個人)として茨城町青少年相談員の田家洋治さん(神谷)、功績者表彰(団体)として水戸地区交通安全母の会連合会(山口美知子会長)が表彰されました。

新型コロナウイルス感染症対策 町内全小中学校にパーテーションを設置



葵小学校

新型コロナウイルス感染症対策として、国の学校保健特別対策事業費補助金等を活用し、各小中学校の児童生徒及び教職員用のパーテーションを設置しました。今回導入したパーテーションは、透明なP.E.T樹脂製で、給食やグループ学習時などにおける感染予防のために教室や特別教室の机等に設置するものです。

11/12 (木) 若手農業者向け 「農福連携セミナー」開催



若手農業者向け「農福連携セミナー」が駒場庁舎で開催されました。農福連携は、就労人口の減少などで担い手の確保を課題とする「農業」と、障がい者の就労機会の拡大を求める「福祉」が連携し、双方の課題解決を目指す取り組みです。今回のセミナーは、若手農家を対象に農福連携を知ってもらい、今後の経営発展につなげることを目的に開催されました。当日は若手農業者18人が参加し、実際の取り組み事例として照沼洋平さん(水戸市、照沼農園代表)からの講演などが行われました。

自治総合センター コミュニティ助成事業 宝くじ助成で 公民館備品などを整備



長岡区(磯部光雄区長)では、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用し、公民館にエアコン、会議用テーブル、折り畳み椅子、テレビ、音響設備等の公民館備品を整備しました。この事業により、地域住民が安心して快適に公民館を利用できるようになり、コミュニティ活動がより活発になることが期待されます。